作成日：2013/10/15

ON-PAM 国際交流委員会　第 3 回委員会議事録

日時	2013 年 10 月 14 日（月）12 時～15 時		会場	京都芸術センター 大広間
委員総数	24 名	出席総数	6 名	
参加者数	19 名（委員 6 名、その他の委員 13 名、その他ゲスト等 0 名）			
議長	齋藤啓		記録	横堀ふみ
配布資料	なし			
審議事項	（1）事例報告（西山葉子／青年団） （2）「劇団および制作者にとっての海外公演について」ディスカッション （3）次回日程について			
作成者	横堀ふみ			

議事録内容

・国際交流委員長（齋藤啓）より、国際交流委員会 第 1 回・第 2 回についての紹介。

（1）事例報告（西山葉子／青年団）

- 青年団の国際事業について、数々のレイヤーにおける事業事例についての紹介、
  ＜海外公演＞ ①青年団の海外公演、②国際共同制作（平田オリザの作品＋地元のキャスト）、③国際共同制作（地元の作家、演出家＋青年団の俳優）
  ＜国内公演＞ ①外国のカンパニー招聘公演、②国際共同制作（平田オリザの作品＋外国キャスト）、③国際共同制作（外国の作家、演出家＋青年団の俳優）
- 海外公演における様々な機会　①公共劇場の年間プログラム、②フェスティバル、③行政主導の文化外交、③演劇教育、外交、④日本語教育、大学、⑤ロボット研究
- 質疑応答

（2）「劇団および制作者にとっての海外公演について」ディスカッション

・「制作を担当するアーティストが新作を作る際に海外公演を想定するのか。あるいは、海外公演の可能性についてアーティストと話をするのか。」を切り口に、劇団および制作者にとっての海外公演についてのディスカッションを重ねた。

（3）次回日程について（齋藤啓）

- 国際交流員会の今後の展開について、地域協働委員会と交流しながら進める展開もある。
- ON-PAM の国際化について、国際交流委員会が担っていくべきなのか、このあたりの意見も今後聞いていきたい。
- 次回は、12 月中に東京で第 4 回委員会を実施する予定。